

京 阪 二 日

— 關 西 聯 合 保 育 會 —

倉 橋 惣 三

十月十七日京都公會堂で開かれた關西聯合保育會は、その盛大、その活氣、いつも乍ら、斯界のために意を強うさせられた。午前の中に、談話題の意見發表と、研究發表とを併せ聽かんことを楽しみとした私にとつては、研究發表が午後にまわされて、それを聽くの暇もなく、惜しくも午後一時富士特急の客となつたことを、まことに心のこりとしたが、以て議事内容の豊富さを見るべしである。しかも私としては、談話題の意見發表を聽いたゞけでも、五市の保育會に對して十分敬意を感じしむるに足りた。蓋し斯の種の總集會に於ては、個人的研究に發表の機會の與へらることも素より大切であるが、同一宿題に對する構成各團體の綜合的討究こそ、他の集會に於て得られ難き貴重の價値を有するものであつて、三市聯合保育會の當時から、此の

談話題討議を以て此の會の中心主體として、少くも余一人は考へ、また重視してゐたからである。今回も亦、一づゝ適切なる問題が提出せられて居るを見、それに對し、各保育會が、いづれ劣らぬ代表辯士を壇上に送つて、その熟議研究の結果を發表せしめられたのを傾聽し、深き満足感に浸されたのであつた。たゞ、此の會を敬愛するものとして慾の上の慾をいへば、各市保育會がその會内に於ける最近の實施、研究、計畫、方針、希望等に關する總括的報告を會各自のものゝ發表せられ、互に參考とせられては如何んといふことである。勿論、從來も其の方針であつたかとも聞いてはゐるが、それが、もつと徹底せられて、一々の問題に對する眞に綜合的なる解決の集成が出来たらと、そんなことが——特に今年の會でといふのでなく、——いつも

考へられるのである。但し、其の問題に關し、特に報告すべき意見なり實施なりをその意見の所有者、實施の當事者をして語らしむるは最も適切必要のことであるが、その人をして、保育會の代表報告を併せ行はしめることが出来るであらうと思ふ。尤も、個人的座談會の一形式として、談話題意見發表に多くの興味と利益とがあつて、それでも十分結構のことであるが、問題の種類によつて、兩者並び行はれるも亦妙であらう。更に、提出さるゝ問題そのものを、各市保育會の隨意提出によるものゝみならず、總會そのものゝ研究議題として、各年一二の中心問題が必ず登録せらるゝも亦、意義と活氣とを添ふるものであるまいか。而して、かういふことは、臨時的大會などでは實行上容易でないが、此の五市聯合保育會の如き、連續的に構成單位を同じくする組織内に於てこそ、初めて可能にして當然なる有機的仕事であると思ふのである。

x x x

その前日午前は、大阪中央放送局から日曜日の朝の講演として「世相と家庭教育」と題して放送し、午後は、大阪

童話教育研究會講演會に於て、同會の標語「子どもと語る」の提供者として、其の題目に就きて講演し、やゝ更けて京都に入つたが、寝もやらず都ホテルのバルコニーで眺めあかした、京の秋の月の夢みるやうな美しさは、胸苦しい程の思ひに恍惚たらしめた。更に、翌早曉、大塚喜一君に迎へられて、ホテルの裏山から、朝霧深き東山に沿ふて、杉の木立の露したみちを、知恩院裏から祇園の方へ降りて見た小半時の散歩は、まことにゆふべの夢のつゞきにふさわしい京の朝であつた。

それから聯合保育會に臨んだのである。